抽苔（ちゅうだい）が遅い春作用ヒロシマナ品種「晩抽広島3号」

ヒロシマナは春に花茎が伸長（抽苔）すると，品質が低下するため，抽苔前に収穫する必要があります。そのため産地からは収穫期間延長のために，春作用の抽苔の遅い（晩抽性）品種が望まれています。そこで，これまでの品種より7日程度抽苔の遅い「晩抽広島3号」を育成しました。

○「晩抽広島3号」の特徴

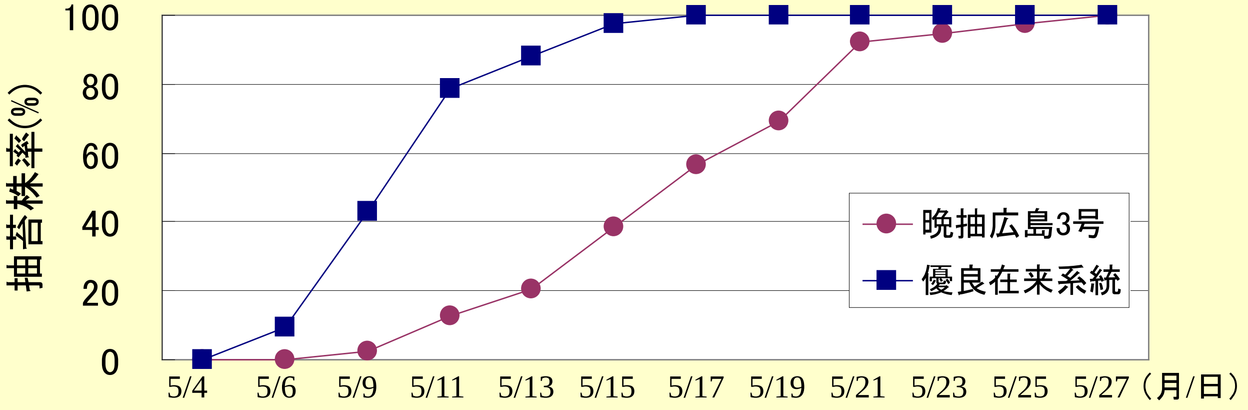
★ヒロシマナと晩抽チンゲンサイとの交配により育成しました。

★優良在来系統より7日程度抽苔が遅い。

★外観特性および漬物加工後の食味は優良在来系統とほぼ同等です。

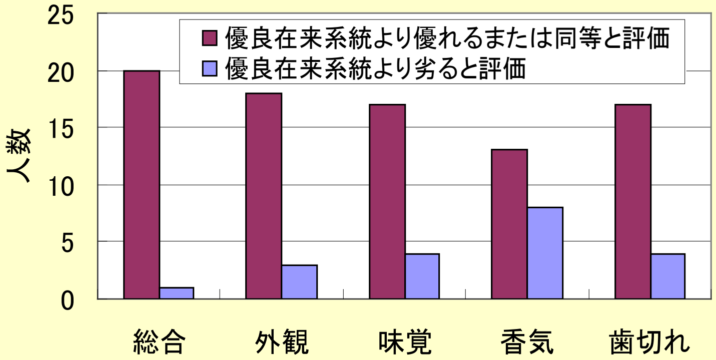
★温暖地における1～2月収穫作型でも利用可能です。

「晩抽広島3号」の外観



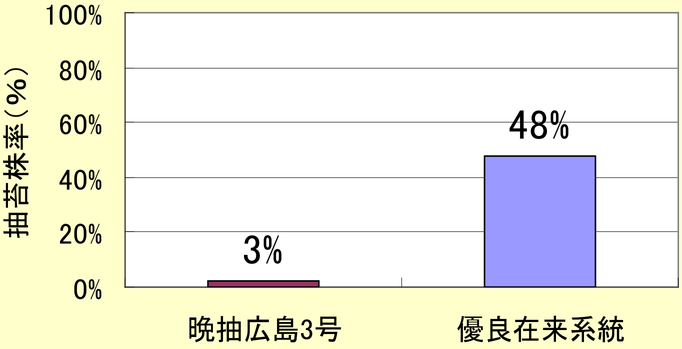
4～5月収穫作型における抽苔特性比較

試験場所:東広島市八本松町,播種:1月28日,定植・トンネル:2月24日,トンネル除去:4月8日



「晩抽広島3号」の食味評価

パネル21名による優良在来系統を対照とした官能評価



1～2月収穫作型における抽苔特性

試験場所:広島市安佐南区,播種:10月1日,定植:10月18日,調査:1月28日

Ⓒ 2009 広島県立総合技術研究所・農業技術センター 栽培技術研究部